

1 単元名 Lesson 6 Iceland / Grove Communication English II (文英堂)

2 単元目標

○ペアやグループでの言語活動に積極的に参加しようとする。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

○既習の文構造や語彙を用いて事実や意見を即興で話すことができる。

(外国語表現の能力)

○Icelandについての英語を聞いたり読んだりして、要点を理解することが出来る。

(外国語理解の能力)

○様々な不定詞、動名詞、S+V(=be)+形容詞+that節の文構造について理解している。

(言語や文化についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

本課では、アイスランドの人々が、危険と隣り合わせの地理的条件の中で、いかに自然の恩恵を利用しながら生活しているかが書かれている。日本も自然に恵まれていると共に、自然災害の多い国である。東日本大震災や原子力発電所の事故など、自然災害の脅威、原子力エネルギーを利用することについても取り上げることで、これらの問題に対する意識を高め、生徒それぞれが考えを深められる教材である。

また、言語材料として、様々な不定詞、動名詞、S+V(=be)+形容詞+that節の文構造を扱う。

(2) 生徒の実態

本学級の生徒に対して「絵を見てそれについてできるだけたくさん話す」活動についての実態調査(平成27年\*月\*日実施 第\*学年\*組\*人)を行った結果、クラス平均発語数は\*語であった。1分間の発語数到達目標は60~100語としているため、到達目標の半分以下の生徒が約\*%いることがわかった。また、英語に関する意識調査(平成27年\*月\*日実施 第\*学年\*組\*人)の結果、最も苦手な技能が「話すこと」と「聞くこと」であり、それぞれ\*%であった。「英語を使えるようになりたいですか」という質問では、「そう思う」が\*%と最も多く、次いで「どちらかというそう」が\*%で、多くの生徒が英語を使えるようになることを望んでいることがわかった。話す技能については、「自信がない」が\*%で「相手に通じると楽しい」\*%を上回っていた。「英語を話すときに難しいと思うことは何ですか」という質問には、「文法」と答えた生徒が最も多く、\*%であった。これまでの授業では、主に練習問題を解くことに重点が置かれ、文法知識を活用して話す力が身に付いてないことがわかった。これらのことから、文法指導と言語活動を結びつけた学習活動を設定し、事実や自分の考えなどを相手に適切かつ流暢に伝えることができるような手立てが必要であると考える。

(3) 指導観

本単元では、文法指導に1分間モノログやタスクを取り入れた言語活動の工夫を行う。第一に、帯活動や本文内容のリテリング活動において、自分の言いたいことを英語で話し続ける1分間モノログを設定し、即興で英語を話すことに慣れさせる。第二に、文法指導の際にタスクを設定した学習活動を行い、コミュニケーションの中で文法を活用することができるようにする。これらにより、事実や意見を即興で話す力を高めることができると思う。

#### 4 指導と評価の計画（9時間扱い）

時	学習の内容	関	表	理	知	評価規準（評価方法）
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真を見て即興で説明する活動</li> <li>Part 1の内容を理解する</li> <li>to不定詞の用法を理解する</li> </ul>		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>既知の表現を用いて話すことができる。（観察）</li> <li>本文の内容について、要点を理解することができる。（ワークシート）</li> <li>to不定詞の用法を正しく理解している。（後日テスト）</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>Part 1の内容を即興で説明する活動</li> <li>to不定詞を含むスピーチを聞き、メモを取ったり、問題に答えたりする</li> </ul>		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で扱った語句や文構造の知識を使って話すことができる。（観察）</li> <li>英語を聞いたり、問題に答えたりして、to不定詞の形容詞的用法や副詞的用法を正しく理解している。（ワークシート）</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>Part 2の内容を理解する</li> <li>お好み焼きU. S. A.（タスク活動）</li> </ul>		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>to不定詞を使って、自分の意思を伝えたり相手に質問したりすることができる。（観察・ワークシート）</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>Part 2の内容を理解する</li> <li>Part 2の内容を即興で説明する活動</li> </ul>			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の内容について、要点を理解することができる。（ワークシート）</li> <li>授業で扱った語句や文構造の知識を使って話すことができる。（観察）</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>Part 3の内容を理解する</li> <li>動名詞の用法を理解する</li> </ul>			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の内容について、要点を理解することができる。（ワークシート）</li> <li>動名詞について正しく理解している。（後日テスト）</li> </ul>
6 本 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>Part 3の内容を即興で説明する活動</li> <li>ハローウィンコスチューム（タスク活動）</li> </ul>		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で扱った語句や文構造の知識を使って話すことができる。（観察）</li> <li>to不定詞を使って、自分の意思を伝えたり相手に質問したりすることができる。（観察・ワークシート）</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>Part 4の内容を理解する</li> <li>Part 4の内容を即興で説明する活動</li> <li>S+V(=be)+形容詞+that節の文構造について理解する。</li> </ul>		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の内容について、要点を理解することができる。（ワークシート）</li> <li>授業で扱った語句や文構造の知識を使って話すことができる。（観察）</li> <li>S+V(=be)+形容詞+that節の文構造について正しく理解している。（後日テスト）</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーション準備</li> </ul>		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで話し合い、情報をまとめて書くことができる。（ワークシート）</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTに茨城のおすすめツアーをプレゼンテーションする活動</li> </ul>	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>聴衆が聴きやすいように発表を積極的に行っている。（観察）</li> <li>ALTの質問に答えることができる。（観察）</li> </ul>

#### 5 本時の指導

##### (1) 目標

○授業で扱った語句や文構造の知識を使って話すことができる。

○to不定詞を使って、自分の意思を伝えたり、相手に質問をすることができる。（外国語表現の能力）

##### (2) 準備するもの

PC, プロジェクター, スクリーン, 音読用ワークシート, ワードカウンター, ワークシート (one minute-monologue), Sheet A・B (ハローウィンコスチューム用)

(3) 展開

活動内容	指導上の留意点及び評価
<p>1 挨拶をする。 本時の流れと目標を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で挨拶をし、英語学習の雰囲気を作る。</li> <li>・本時の学習内容を説明し、目標をもって取り組むよう励ます。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;ハローウィンコスチューム&gt; ホームステイ中ハローウィンパーティーに参加するため、衣装について何が必要かホストファミリーと相談して決めよう！</p> </div>	
<p>2 Part 3の本文を、ペアでスラッシュごとに、一人が日本語、もう一人が英語で読む。</p> <p>3 スクリーン上の本文を全体で音読練習した後、ペアで一人ずつスクリーン上の英文の空欄を埋める活動を行う。</p> <p>4 【1分間モノログ】 (Part 3のリテリング)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1分間で日本語のマインドマップを作る。</li> <li>・ペアでキーワードを使いながらPart 3の内容を即興で説明する。</li> <li>・相手の説明を聞きながら、語数を数える。</li> <li>・言いたかった表現をワークシートに書く。</li> </ul> <p>5 【タスク活動】 ハローウィンの衣装について、ペアで必要な物の説明をしたり、尋ねたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドを見ながら単語練習を行う。</li> <li>・ペアで話し合い、Sheet Aに必要なものをメモする。</li> <li>・Sheet Bに貸してもらえらるものと、自分で用意しなければならないもののリストを作る。</li> <li>・話し合いの結果を発表する。</li> <li>・サンプルダイアログを読み文法や表現を確認する。</li> </ul> <p>6 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時で気づいたことを振り返り、学習内容を確認する。</li> </ul> <p>7 英語で挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを半分に折り、二人合わせて同時通訳になるように、お互いの音読をよく聞いて意味と音を確認するように促す。</li> <li>・ペアで発音等を教え合いながら読むように伝える。</li> <li>・全体練習では、スクリーン上の付箋をはがしながらキーワードを強調したり、日本語の意味を与えながら後について読ませる。</li> <li>・相手がわからないときはヒントを与えるように伝える。</li> <li>・読み終わったら着席してよいことを伝え、達成感を味わわせる。</li> </ul> <p>評 相手の語数を数えるワードカウンターを用意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終わった後に挙手をさせて語数を確認する。</li> <li>・ワークシートを提出させ、生徒が言えなかった表現を次時に解説し、全体で共有する。</li> </ul> <p>評 授業で扱った語句や文構造の知識を使って話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導を行い生徒の発話を聞き、良い表現や間違った表現をピックアップしておく。</li> <li>・いくつかのペアに話し合いの結果を発表してもらう。</li> <li>・サンプルダイアログを配布し、読み上げ、使うべき文法や表現に気づかせる。</li> </ul> <p>評 to不定詞の形容詞的用法や副詞的用法を用いて、自分の意見を伝えたり、相手に質問したりできたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで話し合わせ、本時の学習で気づいたことを振り返りシートに記入させる。全体で確認し、次時へとつなげる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の取組を称賛し、意欲を高める。</li> </ul>